

第 61 期中央執行委員会の発足にあたり

仲間を増やし、力を合わせて、厳しい状況を変え、 働きがいのある職場と処遇をめざそう！

7月1日から、第61期中央執行委員会が活動を開始しました。

日本では、「規制緩和」の名のもと、企業にとって都合のよい「安上がりな雇用の調整弁」として、派遣社員などの非正規雇用が広がりました。その結果、世界的な金融危機のもとで大企業は、非正規雇用社員を簡単に切り捨て、株主配当は維持・増配するという労働者犠牲の経営を続けています。これに対し派遣社員などが、新たに労働組合を結成したり、身近な労働組合に加入して労働局申請や裁判に立ち上がるなどの運動が全国に広がり、派遣切りを阻止したり、正規社員として雇用させるなどの成果も出てきています。

正規社員の処遇も全体として切り下げられ、「成果主義」の名のもとで格差が広がっています。こうした、日本の労働者全体に押しつけられた不当なやり方が、「公務員バッシング」とも重なって、私たちの職場にも直結しています。これらの動きを押し返すには、日本の労働者全体が連帯した運動が必要であり、私たちもそれに参加していくことが大切です。

原子力機構では、すでに「統合による給与調整」による賃金の切り下げ、「給与構造の見直し」による本給の切り下げ、旧原研の研究手当の制度改悪による切り下げに続いて、今年6月には一時金の大幅削減が強行されており、本給のアップが何年もない状態の中で、どんどん処遇が悪くなっています。このままにしておくことは絶対にできません。また職場では、毎年100人に相当する職員の人員削減で人手不足が一層深刻化し、多くの請負契約社員や出向職員、業務委託の方に頼っています。さらに機構は、任期付き研究者も増やそうとしています。本来、職員が行うべきことに従事している方については、きちんと、正職員として雇用すべきであると考えます。

職場では、予算不足も深刻です。施設・設備の維持費も研究予算もほとんどのところで削減を続けられ、どうにもならない状況に追い込まれています。中には、予算不足のため、1年間を通しての稼働を断念せざるをえない施設まで出ています。一部の大型施設に関連して多額の経費が必要であれば、それを他の施設や業務の予算を削り込んで捻出するのではなく、国から必要な予算をもらうべきです。

新人事評価制度については、労使交渉を活発に行ない、機構が当初提案した制度設計に比べて、原研労組の主張が多く取り入れられています。昨年度から6級以下の一般職員にも新人事評価が実施され、その結果は、この6月一時金に反映されました。「マイナス評価は絶対評価で」という原研労組の主張が制度に取り入れられた結果、マイナス評価を受けた職員はごく少数でした。今後とも、新制度の内容や運用における改善について、労組として取り組

んでいきます。

厳しい状況を少しでも変えていくことができるのは、まともに声をあげる労働組合に多くの方が結集し運動をすることです。新しい組合員を迎え入れ、組合員が力を合わせ、様々な運動を積み上げることで、働きがいのある職場と処遇をめざそうではありませんか。

働きやすい職場と人間らしい生活にふさわしい処遇を獲得できるよう、中央執行委員会として奮闘していきますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

第61期中央執行委員会役割分担 2009.7.1~2010.6.30

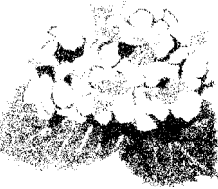
(略)

**組合に加入して安心して働こう！
組合に加入して職場を変えよう！
皆の力で、皆が働きたくなる研究所を目指そう！**

組合への加入はいつでも受け付けています。

【労働組合事務所】 Tel. 5413, 5414 Fax. 029-284-0568
e-mail : genkenrouso@muse.ocn.ne.jp URL : <http://orange.zero.jp/genkenrouso.wing/>

小森 陽一さんが ・・・やってくる！！



「九条の会東海準備会」は、大江健三郎、井上ひさしさんなど文化人9名による『九条の会アピール』（2004年6月）に賛同し、ここ東海村でもこれに呼応して、できることから始めようと、2006年4月に有志が集まって立ち上げたものです。以来、映画「日本の青空」の上映会（2007年10月）、矢田部弁護士「自衛隊イラク派遣と憲法」講演会や、DVD「昭和と戦争」の連続鑑賞会、「戦争体験者を困む懇談会」等の例会を続けてきました。

この度、憲法の平和精神を護ろうという思いを、より多くの村民の皆さんと分かち合いたく、「九条の会とうかい」を発足させます。また、これを記念して、全国九条の会事務局長の小森陽一さんを招いて、下記のとおり講演会を開催します。

「戦争は嫌だ」、「平和な暮らしを」と願う方々のご参加を心から願ひ、呼びかけます。また、この機会に「九条の会とうかい」へ入会いただき、この素朴な草の根の広がりにご協力いただけるよう、お誘いいたします。

「小森さん」って??

楽しく明るい
信念の人です。

小森陽一（こもり・よういち）1953年東京都生まれ。

東京大学大学院総合文化研究科教授、専攻は日本近代文学。「心脳コントロール社会」（ちくま新書）、「理不尽社会に言葉の力を」（新日本出版社）、「ことばの力平和の力」（かもがわ出版）など著書多数。ことばの専門家。九条の会事務局長として全国を飛び回り、分かりやすく、元気になる講演は定評がある。

と き 2009年7月11日（土）14時から16時
会 場 東海村文化センター大会議室
内 容 「九条の会とうかい」結成総会
講演 「今、憲法9条を語る」
講師 小森 陽一（九条の会事務局長）